



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.12.17 No. 3323

原職奪還へ全力で闘いぬく

総武支部定期大会開催

総武支部は、十二月九日、千葉市内弁天町会館において第三回支部定期大会を開催し、強制配転を粉砕し原職奪還にむけて不屈に闘いぬくことをあらためて決意した。

腹を据えて闘おう

○総武支部は、強制配転者を中心に昨年結成された。支部を作った時



営業の中で闘いを訴える長田支部長

強制配転を粉砕して、一刻も早く支部をなくそうと考えていた。この間昨年十月までは、古い順に元職場に帰る人も多かった。それがそれで降止まったままになっていく。これは動労千葉にたいする反動の一つであり、ストで反撃するしかない。こうなったら、腹を据えてやる。続いて、来賓の挨拶で本部から田中書記長が、強制配転粉砕を第一に動労千葉としても原職奪還にむけて闘う、と決意を述べた。

執行部から経過報告、運動方針案などを提案したのち、討論に入った。本部中野委員長もまじえた討論のなかで、各駅での職場の状況や、十二月一日強行された精算窓口の廃止など営業合理化にたいする闘いを話あった。最後に執行部を選出して支部大会を終了した。

総武支部新役員体制

支部長	長田敏之	千葉	駅
副支部長	高野隆夫	船橋	駅
"	関一夫	蘇我	駅
書記長	吉野幸成	亀戸	駅
書記次長	杉本則夫	長浦	駅
執行委員	大塚明人	滑川	駅
"	岡安正	西船橋	駅

貨物協議会結成 労働条件の改善へ



活発な討論で貨物協議会出発する

十二月十一日、千葉市市民会館において動労千葉貨物協議会結成総会が開催され、新小岩・佐倉両支部と本部から四五名の参加で、貨物協議会の結成と当面する方針が確認されました。総会は、田中準備副委員長の開会ではじまり、議長に笠井準備委員を選出した。関準備委員長の「貨物職場の労働条件改善に貨物協議会を結成して闘おう」というあいさつのち、来賓として本部田中書記長からあいさつを受けました。さらに柴崎準備副委員長が経過報告と運動方針案の提起を、また本部布施副委員長が当面する交渉課題について報告を行いました。その後質疑応答に入り、○貨物協議会は地上勤と乗務員を同等にあつかってほしい。○乗務員が足りないのに、出向さ

せるのはおかしい。○この前ストをやった時の当局の対応をみても、貨物協議会を結成することは一つの力になる。○新採は各職場に入れるのか。○乗務員の定着化のとりくみを。○動乗勤の片仕切りは許せない。など、多くの意見・質問がだされました。本部や準備委員から答弁ののち、運動方針を拍手で確認し、新役員を選出ののち、加瀬準備委員の閉会の言葉、関貨物協議会初代議長の団結ガンパローで結成総会は終了しました。選出された貨物協議会役員

議長	長 関	豊	運転士
副議長	長 田中	龍美	車技係
事務局長	柴崎	良夫	運転士
常任委員	加瀬	武正	車技係
"	笠井	清	運転士
"	宮内	正志	運転士